

編集後記

本誌の発行が昨年末の印刷所火災の影響でおくれていることについて、なんどかおことわり申し上げたが、なお問い合わせの電話をしばしばいただいている。その多くは病院や大学の図書室からのものである。発行遅延のためすでに本誌は第三種郵便物の特典を失った。郵政省によりその資格を取り消されたのである。そのため莫大な送料を支払っている。読者からいただいている購読料はこの郵送料に消えてしまうぐらいである。学術刊行物の郵送にたいし、政府はもっと寛容と便宜を与えるべきではないか。文化国家だの福祉国家だのという呼称が、日本ではなんら実質を伴っていないことが、このようなことから感ぜられるのである。(T. T.)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料2,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間12ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投稿内規(1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけて下さい。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pHなどを使用し、は不用です。またBUN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わずTable 1, Fig. 2等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
 - A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
 - 例 1) 中野: 泌尿器科紀要, 1: 110, 1955.
 - 2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
 文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿器科紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
 - B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
 - 例 1) 加藤篤二: 日本泌尿器科全書, Vol. 5, p. 175, 金原出版 & 南江堂, 東京, 1960.
 - 2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。ご投稿のさい希望部数を申し込んでください。お急ぎのときは特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
10. 原稿は最終的にご希望があれば返却いたします。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けはいたしません。
12. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第19巻 第3号 1973年3月25日 印刷 1973年3月31日 発行
 創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤二 定価 500円(送料別)
 編集 友吉 唯夫 発行 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部
 606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
